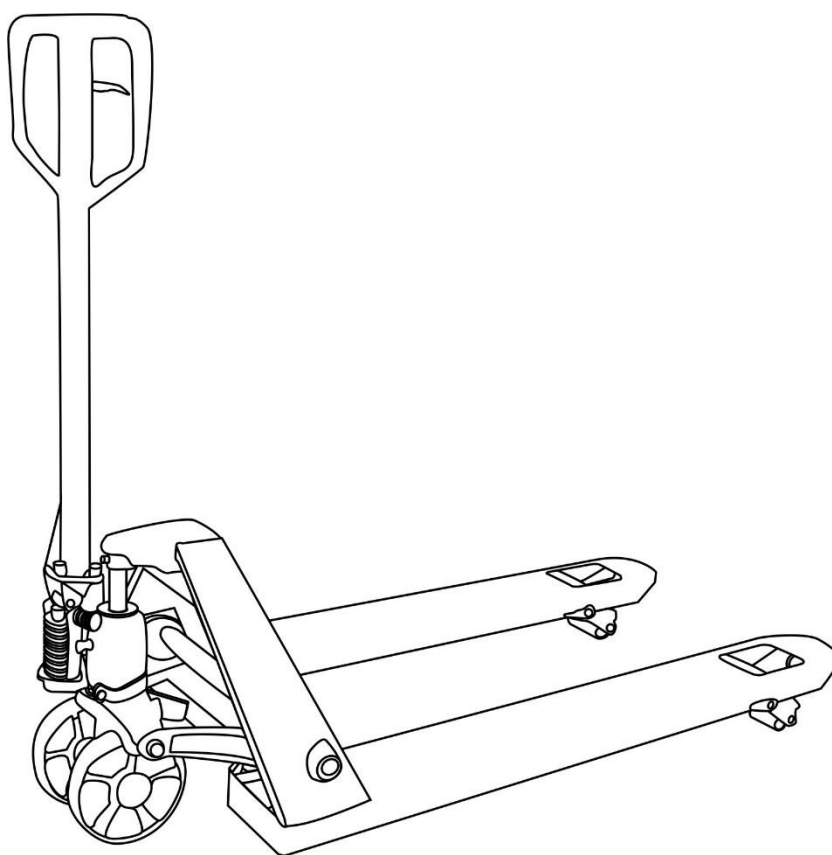


油圧式パレットトラック

DB-20

取扱説明書

この度は、油圧式パレットトラック DB20 をご購入いただき、誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願い致します。尚、この取扱説明書は常時内容が確認できるよう大切に保管して下さい。



20190206

注意

- ご使用前に、警告標示と指示をよく読んでください。
- 安全にご使用いただくために、完全に理解してからパレットトラックを操作して下さい。
- ご使用前に必ず本体の各部を確認して下さい。車輪、軸、ハンドル、レバープレートなども十分に確認下さい。
- 斜面、凹凸面、軟らかい地面などバランスを崩しやすい場所では危険ですので、ご使用しないで下さい。
- パレットトラックには人を乗せないで下さい。
- パレットトラックから落ち、怪我をする危険性があります。
- ご使用の際、作業者は必ずグローブをして下さい。
- パレットトラックを作業する場合は、人をフォークから 600mm 以上遠ざけて下さい。

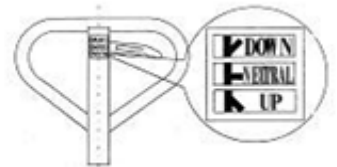
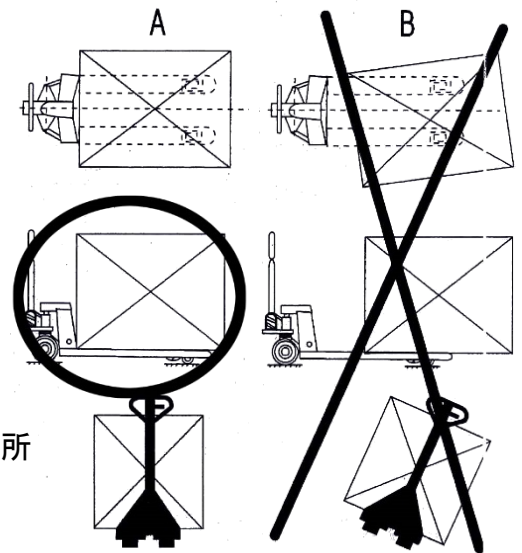
●フォークとハンドルレバーの位置関係

図Dのようにハンドルレバーには DOWN、NEUTRAL、UP の3箇所の配置があります。それぞれの機能として：

DOWN：レバーを DOWN 位置にすれば、フォークが下降します。

NEUTRAL：レバーを NEUTRAL 位置にすれば、フォークが移動します。

UP：レバーを UP 位置にすれば、ハンドルを上下に作動すれば、フォークが上昇します。

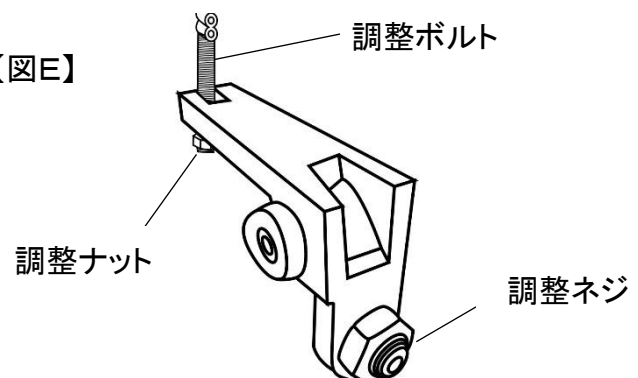


●フォークの調整

ハンドルレバーを設置したのに、正常に作動しない場合、下記のステップに従って調整して下さい。

- ・ハンドルレバーを[NEUTRAL]位置にしてもフォークが上昇する場合：
(1)調整ナット或は調整ネジをフォークが上昇しなくなるまで 順時計方向に回し続ける。
- ・ハンドルレバーを[NEUTRAL]位置にしても、フォークが下降する場合：
(1)調整ナット或は調整ネジをフォークが下降しなくなるまで、反時計方向に回し続ける。
- ・ハンドルレバーを[DOWN]位置にしても、フォークが下降しない場合：
(1)調整ナット或は調整ネジをフォークが下降するまで順時計方向に回し続ける。
- ・ハンドルレバーを[UP]位置にしても、フォークが上昇しない場合：
(1)調整ナット或は調整ネジをフォークが上昇するまで反時計方向に回し続ける。

【図E】



仕様

型式	DB20
フォーク長さ	1150mm
フォーク幅	550mm
フォーク高さ(最低/最高)	75/190mm
車輪(mm)	Φ160

故障の原因と対策

故障の種類	原因	対策
フォークが最高位まで上昇しない	・ 油圧オイルが足りない	・ オイルを注入する
フォークが上昇しない	・ 油圧オイルがない ・ オイルが汚れる ・ 調整ナットが高すぎるかネジを締めすぎる ・ 油圧オイルに空気がたまる	・ 給油 ・ オイルの交換 ・ ナットとネジの調整 ・ 空気を抜き出す
フォークが下降しない	・ 図 B のようにするとピストン、又はポンプが曲がる ・ 長時間、フォークを最高位にしたまま ・ 調整ナットとネジの設置不良	・ ピストンとポンプの再調整 ・ 使用しない時にフォークを最低位にする ・ ナットとネジの調整
磨耗、損傷	・ シーリングパーツの故障 ・ 消耗部品の磨耗、亀裂	・ シーリングパーツの交換 ・ 消耗部品の交換
リリースバルブが作動しないでフォークが下降する	・ オイルの汚れでリリースバルブが締められない ・ 油圧システムの部分の汚れ ・ シーリングパーツの損傷 ・ 調整ナット、ネジの設置不良	・ オイルの交換 ・ 汚れる部分の点検と交換 ・ 空気抜きをする ・ シーリングパーツの交換 ・ ナットとネジの調整

●メンテナンス

- ・ 6ヶ月毎にオイルポンプを点検して下さい。
- ・ 油圧オイルに空気がたまるとハンドルレバーが[UP]に固定しても、フォークが上昇しない原因となります。空気が発生しないようにハンドルレバーを[DOWN]にして下さい。又は、ハンドルを何回か上下させて下さい。
- ・ できるだけパレットトラックの耐摩耗性を毎日点検して下さい。(糸くずやぼろ布などは車輪、軸に入らないようにして下さい。)
- ・ 給油箇所にオイルを少なくとも1ヶ月に1回注入して下さい。

弊社取扱いの「油圧式パレットトラック DB-20」は耐水タイプではございませんので、定期的にメンテナンスをして頂く必要がございます。

取扱説明書には、「オイルを少なくとも1ヶ月に1回注入して下さい」と記載しておりますが、水濡れ湿気等が多い環境でご使用の場合は、1週間に1回程オイルを注入して頂きますようお願い致します。

オイルの注入方法は、ホームセンター、量販店等で販売しております、「オイルスプレー」を金属部分全体、また細部には、ノズルを使用し浸透するように注入して下さい。

サビが付いてしまった所は、オイルスプレーを使用し浮き上がってきた錆をブラシ等でこすって除去して下さい。



【全体的に錆止め】

- 金属部分全体的に錆止めのスプレーを振ってください。
- 週に1度程度の間隔で錆止めスプレーを振ってください。
- 動きが悪くなった時には、錆止めスプレーを振ってください。
- 数日間使わない時は、前日に錆止めスプレーを振ってください。

【細部に錆止め】

- ノズルをつけて隙間に浸透させるように錆止めスプレーを振ってください。



保存上の不備・メンテナンス不足による故障、損傷、錆による不具合は有償修理となります。

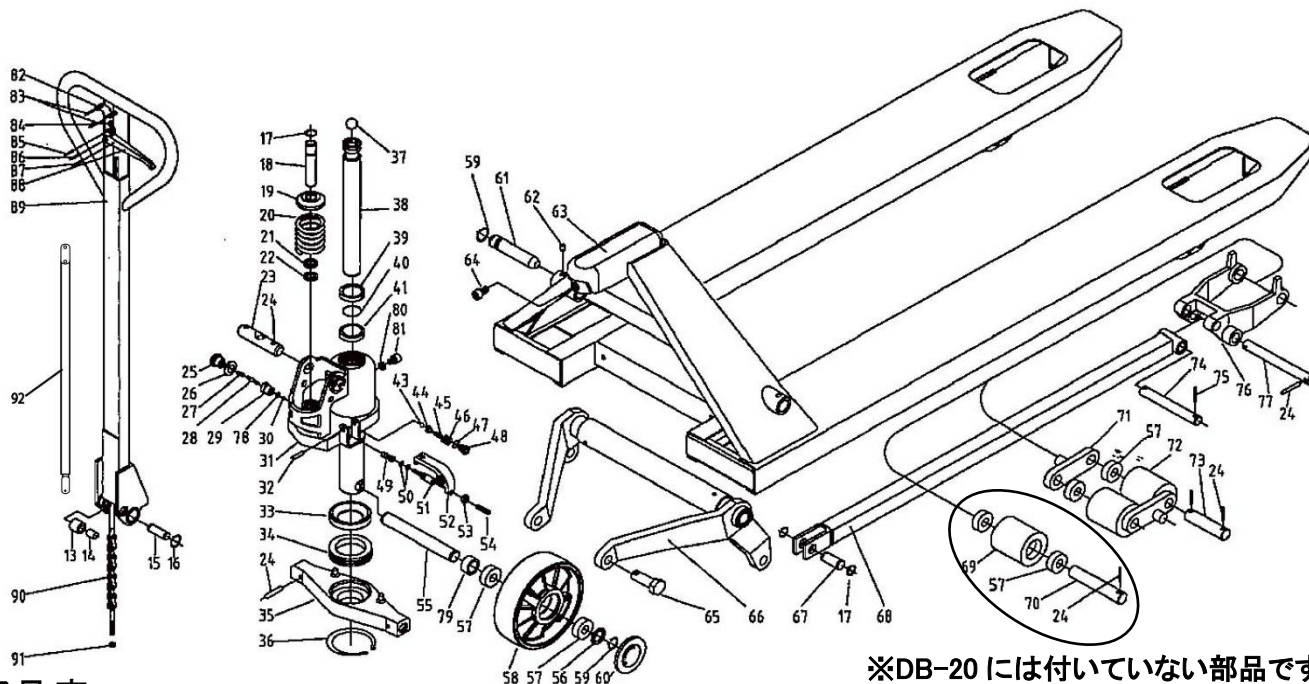
その際の往復運賃・修理代金はお客様負担となりますので、予めご了承下さいませ。

商品等で何かご意見・不明点とうございましたら、お気軽にご連絡下さい。

今後とも 弊社商品をご愛顧くださいますよう スタッフ一同よりお願い申し上げます。

● 分解図

<DB-20>パレットトラック



※DB-20には付いていない部品です

● 部品表

No.	部 品	数 量	No.	部 品	数 量	No.	部 品	数 量
13	圧カローラー	1	39	ダストリング	1	65	ピン	2
14	プッシング	1	40	O-リング	1	66	ロックアーム	1
15	ピン	1	41	U-カップ	1	67	ピン	2
16	止めリング	1	42	オイルプラグ	1	68	ロッド	2
17	止めリング	4	43	スチールボール	1	69	DB-20 使用無し	×
18	ポンプピストンロッド	1	44	ボールベース	1	70	シャフト	2
19	カバー	1	45	スプリング	1	71	ブラケット	4
20	スプリング	1	46	調節ネジ	1	72	車輪(ナイロン)	4
21	ダストリング	1	47	銅ワッシャー	1	73	シャフト	4
22	U-カップ	1	48	プラグ	1	74	シャフト	2
23	シャフト	1	49	スプリング	1	75	スプリングピン	4
24	スプリングピン	10-18	50	O-リング	2	76	フレーム	2
25	プラグ	1	51	ストライクピン	1	77	シャフト	2
26	銅ワッシャー	1	52	レバープレート	1	78	O-リング	2
27	スプリング	1	53	ナット	1	79	ワッシャー	2
28	バルブ軸	1	54	調節ネジ	1	80	O-リング	1
29	バルブシート	1	55	シャフト(大)	1	81	スクリュー	1
30	スチールボール	1	56	ワッシャー	2	82	ハンドルスプリング	1
31	ベース	1	57	ベアリング	8-12	83	スプリングピン	2
32	スプリングピン	1	58	車輪(大)/PU	2	84	ローラー	1
33	ボウルワッシャー	1	59	止めリング	4	85	スプリングピン	1
34	ベアリング	1	60	ダストカバー	2	86	スプリングピン	1
35	ベース	1	61	シャフト	2	87	スプリングピン	1
36	止めリング	1	62	ボルト	2	88	ハンドル	1
37	スチールボール	1	63	フォークフレーム	1	89	ハンドルチューブ	1
38	ピストンロッド	1	64	ボルト	1	90+92	ワイヤー-ASSEY	1
						91	ナット	1